

## 松本市中央図書館あり方検討委員会報告書の全体構成について(素案)

- 1 タイトル 松本市中央図書館のあり方検討に関する報告書
- 2 報告者 松本市中央図書館あり方検討委員会
- 3 発行 令和3年2月 松本市中央図書館あり方検討委員会事務局
- 4 目次案

### はじめに

- 1 あり方検討委員会設置までの経緯
  - (1) 図書館を取り巻く社会状況の変化
    - ・社会的背景
    - ・変わる公共図書館
  - (2) 公共図書館の使命
    - ・そもそも公共立図書館とはどんな場所か
    - ・図書館の役割と強み
  - (3) あり方検討委員会設置の目的
    - ・松本市中央図書館のあり方検討を行う背景と必要性
- 2 松本市の図書館の現状と課題
  - ・松本市の現状
    - 総合計画や教育振興基本計画の中の図書館
  - ・図書館の現状(サービス・職員・施設)
  - ・利用者アンケート等の結果から見えたこと
  - ・図書館の強み
    - 豊富な蔵書と分館ネットワーク
  - ・図書館の課題
    - 市民の図書館に対するニーズの多様化・高度化への対応が不十分
    - 市民がさらに利用しやすい施設となるための運営方策が不十分
    - 社会状況の変化に伴う施設設備のあり方と対応が不十分
- 3 これからの松本市中央図書館の目指すべき姿
  - ・目指す図書館像

#### 4 市民の知る・学びを支える図書館サービス

##### (1) 資料・情報の整備と充実

- ・資料収集要綱の基本方針と市民ニーズに沿った選書
- ・逐次刊行物、視聴覚資料
- ・地域資料、行政資料
- ・データベース
- ・電子書籍の導入
- ・地域資料のデジタル化
- ・資料のICタグ化による管理
- ・もっと探しやすく、読みたくなる工夫とレイアウト、情報発信

##### (2) 暮らしや仕事や地域の課題解決のためのサービス

- ・高度化、多様化するレファレンスへの対応  
(ビジネス支援、医療支援、子育て支援等)
- ・課題解決のための他機関との連携強化
  - 市の各課、公民館等の施設との連携
  - 他図書館との連携
  - 学校図書館（小・中・高・大）連携
  - MLA連携（博物館、美術館、文書館、松本城、文化財課等）
  - ボランティア、NPO、企業等との連携

#### 5 市民のだれもがどこでも受けられるサービス

- ・全域サービス（分館ネットワーク、信大病院図書室）
- ・全世代に向けたサービス（児童、YA、成人、シニア）
- ・多文化サービス
- ・来館が困難な市民に向けたサービス  
(障害者サービス、インターネットサービス、返却等のサービスポイントの設置)
- ・団体貸出
- ・自動車図書館
- ・図書館を利用したことのない人に向けた新たなサービスや情報発信
- ・居場所、交流等、市民の活動の場の提供

- 6 目指すサービスを支える職員・組織のあり方
- ・資料や情報に精通した職員（選書・情報活用能力）の育成
  - ・中央図書館と分館
  - ・休館日、開館時間
  - ・指定管理者制度
- 7 目指すサービスを支える施設や設備のあり方
- ・民間活力の導入（施設管理、警備等）
  - ・開架スペースと書庫
  - ・多様な利用形態を可能にする居心地の良い公共空間
  - ・駐車場
  - ・公共施設再配置
  - ・ユニバーサルデザイン、環境配慮

## おわりに

### 資料

- ・委員会設置要綱
- ・委員名簿
- ・委員会開催状況 等

※下線部は、特に委員会でご意見をいただきたいと考えているところです。